

令和7年度一般選抜A個別方式（第2期）出題意図

科目名：数学

I 対数，2次方程式，数列に関する基礎知識を問う問題である。

(1)では対数関数を用いて得られる2次不等式を正しく解けるか，(2)では2次方程式の解の存在範囲から得られる条件を正しく活用できるか，(3)では等比数列の定義を理解しているかを問う問題である。

II 2つの放物線の位置関係をもとに，微分法と積分法の理解度を問う問題である。

(1)では，2次方程式の重解とグラフの共有点を確認する問題である。(2)では，(1)の条件下で2つのグラフの位置関係を理解し， x 軸に平行な直線との共有点の個数を考えさせる問題である。(3)では(1)，(2)に付随する2つの図形の面積の和が正しく計算できるかを求めさせている。

III 図形の性質(平面図形)，ベクトル，不等式の理解度を問う問題である。

(1)では，ベクトルの足し算から，指定された点の座標を求めさせている。(2)は，仮定で与えられた2点と(1)で求めた点を含む平行四辺形の残りの1点の座標を図形の特質を理解した上で求めさせる問題である。(3)は，ベクトルの内積の最大値と最小値を与えられた2つの不等式の範囲内で考えさせる問題である。

IV 確率の理解度を問う問題である。

(1)(2)は，5人でじゃんけんをした場合の基本的な確率を正確に計算できるかどうかを問う問題である。(3)は(1)と(2)の計算を通して法則性を導き出し，余事象の確率を正確に計算できるかどうかを問う問題である。